

自然の恵み野 わっさむ町

わっさむ

2023
(令和5年)

9月

No. 826

7月30日(日)

どんとこい! わっさむ夏まつり
オープニング

主な内容

- 2P 4年ぶり開催 どんとこい! わっさむ夏まつり
- 3P ふる里にぎわい祭り2023
- 4P ソフトテニス・柔道で子供たちが健闘!!

第18回 どんとこい！ わっさむ夏まつり

7月30日(日)三笠山ふれあいのもりで「第18回どんとこい！わっさむ夏まつり」が4年ぶりに開催され、町内外から多くの家族連れが訪れました。

10時オープンの「カブト虫王国」には今年も1,000匹のカブト虫が用意され、多くの家族連れが長蛇の列に並び「カブト虫釣り」を満喫していました。また、「移動動物園」や「縁日横丁」各飲食店ブースなども多くの人で賑わっていました。

会場中央の焼き肉ガーデンでは和寒ジンギスカンに舌鼓を打ち、ステージでは塩狩太鼓やYOSAKOIソーラン、チアリーディング、ジャグリング、大抽選会と盛りだくさんの催しで、会場は大きな歓声に包まれていました。



4年ぶり和寒にアツい夏がやってきた！



わっさむの

夏

アツいぜ

ふる里にぎわい祭り2023



8月12日（土）公民館南側駐車場で「ふる里にぎわい祭り」が開催され、子ども盆踊りでは、お盆で帰省中のお子さんなど多くの参加があり「やぐら」を囲んで大小2つの輪ができていました。仮装盆踊りは話題の衣装やキャラクターなどで会場を盛り上げていました。

会場はキッチンカーや露店がならび、ロカビリーバンドのステージショー、最後は和寒の夜に鮮やかな花火が打ち上げられ暑い夏の終わりを感ずる夜となりました。

祭り主催：ふる里にぎわい祭り2023実行委員会 わっさむ夏花火主催：和寒商工会青年部



全国大会出場（ソフトテニス、柔道）健闘！！

7月31日（月）第40回全日本小学生ソフトテニス大会に出場する須賀心護くん（和寒小学校6年）が全国出場にあたり町長へ挨拶を行ないました。須賀くんは5月に行われた予選で見事勝ち上がり、全国出場の切符を勝ち取り、「夏休みもたくさん練習し、調子は上がってきている。まずは1試合勝てるように頑張ります。」と抱負を語られました。

8月3日から兵庫県神戸市で行なわれた全国大会では惜しくも3回戦敗退となりましたが、全国の場で2勝という結果を残し、健闘されました。



8月8日（火）から札幌市で開催された全国高等学校総合体育大会の柔道競技に出場した垂又征吾くん（北海高校3年）が、個人戦では1回戦敗退となりましたが、団体戦で2勝を勝ち取り、全国の場で躍動しました。

今後も須賀くん、垂又くんの更なる飛躍を期待しています。

柔道中体連全道大会で活躍！

7月27日（木）から7月28日（金）まで千歳市で行われた北海道中学校柔道大会に、和寒中3年遠藤馴太くんが男子73kg級個人戦、男子団体戦に出場しました。

大会では見事勝ち進み、個人戦で3位、土別誠心館チームで出場した団体戦でも3位の成績をおさめました。全国大会への出場はかないませんでした。



地域おこし協力隊 ★ 坂口美洋子より Second season

チャレンジメロンのお知らせ

メロン収穫の7月がやってきました。去年と同じようにハウス内温度が高く、予定より早く収穫の兆候が来たので、「どんとこい！わっさむ夏まつり」前に収穫になってしまうかもしれないとハラハラしました。去年はメロンのネット形成時期に高温多湿だったためネットが荒れてしまいましたが、今年は水をあげるのを控えることで綺麗なネットに仕上がりました。当日は100玉のメロンを用意。わっさむ産メロンに驚いて購入してくださる遠方のお客様や、地元の友人知人、弟家族も札幌から来て買ってくれたので、無事完売することができました。

今年はメロン栽培2年目なので、去年買ってくださった全国各地のお客さまの反応も良く、リピーターとなって今年も購入してくださる方々が多くて嬉しかったです。チャレンジメロンを購入して頂き本当にありがとうございました(^_^)



和寒町長へ日頃の感謝を込めてメロンの贈呈



まちのニュース カメラアイ ～地域の問題をお届けします～

7/10
(月)



少年の主張 上川地区大会に出場

旭川市（上川合同庁舎）で少年の主張の上川地区大会が開催され、上川管内の中学生22名の参加がありました。

和寒町からは東陽乃さん（和寒中3年）が出場しました。「人生を豊かにするには」をテーマに自分の経験を基に、実際に挑戦することが大切だという主張を堂々と発表し、会場から大きな拍手が送られていました。

こども館ミニミニ夏祭り

こども館で就園前の親子が集う『ミニミニ夏祭り』を開催しました。輪投げ・牛乳パックを使った金魚すくい・お楽しみ吊りなどのゲームと、児童クラブの児童が作った「廃材利用の模擬店の食べ物（焼きそば・お寿司・たこ焼き等）」などで、大盛況でした。また、参加者それぞれのお子さんの手形で作った金魚のうちわをお土産に夏らしい一日を過ごしました。

7/14
(金)



7/15
(土)



片栗庵の魅力を再確認

片栗庵の魅力を多くの人に知っていただくため、睦会さんに抹茶を準備していただき、パークゴルフを終えた方や家族連れなど、お茶が好きな方々をお迎えしました。

訪れた方は庭園を眺めながら、出されたお茶を静かに味わい、心落ち着くひとときを過ごされていました。

ストレッチで身体をほぐしました

こども館の子育て講座で教育委員会の職員が講師となり、毎年好評の「ストレッチ教室」を行いました。

毎日休みのない育児で、身体中が凝り固まっている参加者の皆さんは、全身のストレッチを通して身体に向き合い、しばし「自分だけの時間」を過ごすことができました。

7/21
(金)



7/31
(月)



エリプスセンスボール運動体験教室

保育所で「エリプスセンスボール運動体験教室」が開催されました。群馬大学小山啓太准教授が講師をつとめ、学び舎みかさやまでも公民館で「認知症予防&口コモ予防ボール運動教室」を実施、述べ62名の参加がありました。

「エリプスセンス」とは小山先生とスポーツメーカーミズノ(株)が共同で開発した「遊びながら学ぶ」をコンセプトに作られた脳を鍛えるボールで、はじめに触って形状を感じ、頭上や後ろ、八の字で持ち替えたり、的に目掛けてボールを投げたり、最後までずっとボールに触れ、その感触から運動スキルを学びました。



宮崎県の子どもたちと交流

全日本玉入れ協会九州協会のある宮崎県諸塚村の小学6年生6名が国内研修で和寒町を訪れ、和寒小学校6年生7名と交流をしました。

はじめは緊張しているようでしたが、モルックと玉入れ交流を通じて徐々に緊張がほぐれ、楽しそうに会話をしている様子も見られました。

1市2町合同ジュニアリーダー研修会（第Ⅱ期）

1市2町(和寒町、剣淵町、土別市)の小学5・6年生18名と、中学生6名が和寒町ふれあいのもりと総合体育館で1泊2日の研修会を実施しました。和寒町からは9名の参加があり、三笠山探索やポッチャ、防災学習を通してグループでの交流を深め、食事は火起こしから調理まですべて自分たちで行い、協力することの大切さを学びました。



暑い夏はプールで楽しむ!!



7/28 少年少女水泳大会

(B & G海洋クラブ主催)

小学生24名が出場した水泳大会では、それぞれの泳力に合わせてビート板の部や自由形の部に分かれ、自己ベストに挑戦しました。

7/26～7/28 水泳教室

(教育委員会主催)

3日間で延べ127名の小学生が参加した水泳教室では、それぞれ自分の目標に向かって、一生懸命練習し、短い間で成長が見られました。



7/29 水中レク(スポチャレ第3弾)

(B & G海洋クラブ、教育委員会主催)

幼児から小学生まで64名が参加した水中レクリエーション大会では、水中宝さがしなどの競技に加え、普段は使用できない大きなボートなどで遊びながら水に親しみました。

年金あれこれ ～「付加保険料」で受給額を上げることができます～

国民年金第1号被保険者（任意加入被保険者含む）は、定額保険料16,520円（R5年度）に付加保険料400円を上乗せして納めることで、受給する年金額を増やすことができます。

将来、年金を2年以上受け取ると支払った付加保険料以上の年金が受け取れる制度です。

たとえば、付加保険料を10年間納めると・・・

付加保険料	400円	×	12ヵ月×10年	=	48,000円（総額）
受給額	200円	×	12ヵ月×10年	=	24,000円（年額）
			(付加保険料納付月数)		

※付加保険料の納付は、申出月からの開始となります。（過去の分を申請することはできません。）

※農業者年金に加入している方は、必ず付加年金に加入し保険料を納めることになっており、加入した月からの納付となります。

※加入の手続きは、住民課お客さま窓口で受付けておりますので、ご相談ください。



■お問い合わせ：旭川年金事務所 TEL 0166-25-5606 または住民課お客さま窓口係 TEL 32-2500

固定資産評価審査委員会委員に今野恵一氏就任

7月16日任期満了となった固定資産評価審査委員会委員に、今野恵一氏（字三笠）を任命しました。

委員の任期は、7月17日から3年間となります。



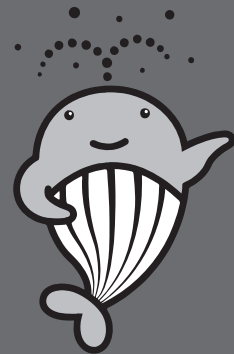
町職員人事異動

令和5年8月1日付 金谷政幸（産業振興課参事兼商工観光労政係長）

宝くじ
公式サイト

宝くじがネットで
購入できる！

宝くじ公式サイト | 🔍



宝くじの収益金は、明るく住みよいまちづくりに使われます

お問い合わせ先

宝くじコールセンター

TEL 0570-01-1192 (ナビダイヤル 有料)

TEL 011-330-0777 (有料)

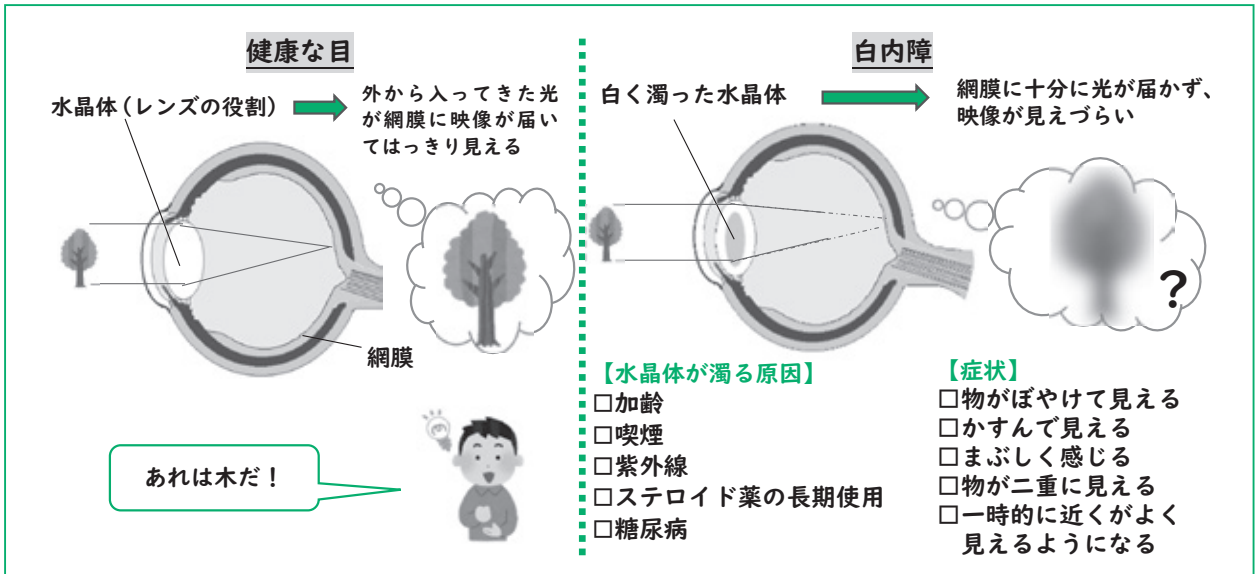
健康メモ

誰にでも起こる！？白内障

白内障は、加齢とともに起こりやすい目の病気の一つです。一般的には、40歳代から発症し、60～70歳代で多く見られるようになります。80歳代になると大部分の人に起こるとされています。

Q) 老眼とは違うの？ 老眼：近くが見えにくいのが特徴です。眼鏡を使えば見えるようになります。
白内障：近くも遠くもぼやけます。眼鏡で矯正することができません。

【白内障は水晶体が濁ることで起こります】



【水晶体に負担をかけない生活習慣を取り入れましょう】

1	強い日差しの日には紫外線から目を守りましょう。 眼鏡やサングラス、帽子などが有効です。目の細胞のダメージを抑えます。	
2	糖분을摂りすぎないようにしましょう。 糖尿病 又は、予備軍の方はHbA1c(7.0%未満)を適切に維持することで、糖が水晶体に蓄積するのを防ぎ、濁りを抑えます。	
3	禁煙しましょう。 タバコはビタミンの吸収を阻害します。禁煙をすることで水晶体の酸化を抑えます。	
4	症状がある 又は、健康診断で「精密検査が必要」と判定された方は、早めに眼科を受診しましょう。進行した白内障を放置すると緑内障などの合併症を起こす可能性があります。また、白内障以外の病気が見つかることもありますので、自己判断せず、眼科の医師に相談しましょう。	例) ほうれん草や人参、 トマトなどの緑黄色野菜、 玉ねぎやネギなどの 淡色野菜
5	野菜は1日350g摂りましょう。 野菜に含まれるポリフェノールやビタミンに抗酸化作用があります。毎食摂ることで水晶体の濁りを抑制します。	

図書館へいこう!



2023上半期 芥川賞・直木賞 そろえています!

芥川賞受賞

『ハンチバック』
市川 沙央 / 著

側鸾症の井沢釈華は、両親が遺したグループホームからほとんど外に出ない暮らしを送っていた。10畳の自室から彼女はあらゆる言葉を送り出す。



直木賞W受賞

『極楽征夷大將軍』
垣根 涼介 / 著

やる気なし。使命感なし。執着なし。なぜこんな人間が天下を獲ってしまったのか? 足利尊氏の秘密を解き明かす歴史群像劇。



『木挽町のあだ討ち』
永井 紗耶子 / 著

雪の降る夜、芝居小屋のすぐそばで、美しい若衆によるみごとな仇討ちが成し遂げられた。芝居町の語り草となった大事件、その真相は…



話題の新着本

『可燃物』 米澤 穂信 / 著

余計なことは喋らない。上司から疎まれる。部下にもよい上司とは思われていない。しかし、捜査能力は卓越している。葛警部の鮮やかな推理が光る全5編。



『たわごとレジデンス』

原 宏一 / 著

虚言、妄信、陰謀論…。セレブなシニアの真実はどこに。シニアのための高級マンションを舞台に、ひと癖もふた癖もある令和の高齢者と、彼らに振り回される若者世代との確執を描いた人間図鑑。



『リスペクト』

ブレイディ みかこ / 著

ホームレス・シェルターに住んでいたシングルマザーたちが理不尽な理由で退去を迫られた。女性たちは連帯して立ち上がり…。2014年にロンドンで実際に起きた占拠事件をモデルとした小説。



『八月の御所グラウンド』

万城目 学 / 著

借金のカタに、早朝の御所グラウンドで謎の草野球大会に参加する羽目になる大学生…。高校駅伝にピンチランナーとして挑む、絶望的に方向音痴な女子高校生を描いた、青春感動作2篇を収録。



『プレデター』

あさの あつこ / 著

舞台は深刻な格差社会が進んだ2032年の日本。アラフォーの雑誌記者・明海和は、ストリートチルドレンの取材を続けるうちに、謎の集団・プレデターに襲撃され…。



『ノストラダムス・エイジ』

真梨 幸子 / 著

東京郊外で発見された15人の遺体。被害者には1999年7月生まれのオカルト好きが集まる“世紀末五銃士”のメンバーも含まれていた。戦慄のオカルトミステリー。



今月のBEST本 (7月の貸出回数上位本)

『おかげで、死ぬのが楽しみになった』

遠末 真幸 / 著

定年退職後、無所属、無希望。かつて応援団員だった3人が、友人の通夜で集まった。そこに、「応援団を再結成してくれ」と遺書が届くが…。青春くらい熱くて尊い「老春」小説。



『「誰かのため」に生きすぎない』

藤野 智哉 / 著

休んでOK。足は「逃げる」ために使っていい。誰にも誇らない人生を生きたっていい…。仕事や子育て、介護などをがんばりすぎる人に向け、自分をいたわり、大切にするための48のメッセージを伝える。



戸籍の窓

■人の動き	7月末現在	
人口	2,950人	(△6人)
男	1,405人	(△2人)
女	1,545人	(△4人)
世帯数	1,515戸	(△3戸)
	()は前月比	
出生	1人	死亡 5人
転入	1人	転出 3人

■たんじょうおめでとう
あかちゃん おとうさん・おかあさん 住 所
後藤 惟織^{いおり}くん 拓磨さん・汀那未^{いづなみ}さん 南 町

■お悔やみ申し上げます

氏 名	年齢	住 所
大淵 光江さん	100歳	芳生苑
眞鍋 優子さん	87歳	北 町
西川とよ子さん	72歳	中 和

ご寄付ありがとうございました

和 寒 町

- ▼5万円 亡母の葬儀に際し
大 淵 弘さん (松岡)
- ▼ふるさとまちづくり応援寄付金(ふるさと納税)
7月 188件 計 240万円

社会福祉協議会

- ▼5万円 亡母の葬儀に際し
大 淵 弘さん (松岡)
- ▼5万円 亡母の葬儀に際し
西 川 直 哉さん (中和)

芳生苑・健楽苑

- ▼15万円 亡母の葬儀に際し
大 淵 弘さん (松岡)
- ▼5万円 祖母の退所に際し
原 和 臣さん (三笠)

= 寄贈 (芳生苑・健楽苑) = (野菜・タオル他)
▼堂前信一さん (松岡)

7月中交通事故状況 (7月末現在)

発生件数	人身 0件 (0件)
	物 損 2件 (28件)
死 者	0人 (0人)
傷 者	0人 (0人)
道内での死者	21人 (64人)

() 内は令和5年累計

士別警察署かわら版

1 秋のヒグマによる人身被害の防止「ヒグマとの事故を防ぐために」

- 複数で行動し、音で存在を知らせましょう。
入山する時は、1人で入らず、複数で行動するようにして、クマ鈴やラジオ等を持って、会話しながら、人の存在を知らせましょう。
- ヒグマの出没情報等に気を付けましょう。
薄暗いときの行動は避け、野山に入る前には、新聞やテレビなどで、ヒグマの出没情報等を確認しましょう。
- 残飯や生ゴミの処理には注意しましょう。
ヒグマは、いったんゴミの味を覚えると、それを目当てにゴミ捨て場などに繰り返し出没するようになります。ゴミを野外に放置したり、埋めたりしないようにしましょう。
- フンや足跡、食べた跡を見つけたら、すぐに引き返しましょう。
ヒグマのフンや足跡、草や木などが食いちぎられた跡などを見つけたときは、すぐに引き返しましょう。
- 落ち着いて行動しましょう。
逃げたり、さわいんだり、慌てて行動すると、かえってヒグマを興奮させ、襲われる危険があります。リュックや持ち物の回収はせず、ゆっくりと静かに立ち去りましょう。

2 秋の全国交通安全運動の実施

～反射材「ここにいるよ！」のメッセージ～
(9月21日(木)～9月30日(土)の10日間)

- ドライバーの皆さんへ
夕方から夜間にかけての歩行者や自転車の見落としや発見遅れによる交通事故を防ぐために、「スピードダウン」と「交差点等での安全確認」を徹底しましょう。「シートベルトは命綱」、全席着用で安全運転に努めましょう！
- 歩行者の皆さんへ
歩行者から車が見えていても、ドライバーからは見えていない可能性があります。無理な道路横断はやめ、横断歩道を利用し、歩いて外出する際は、明るい色の服を着たり、持ち物に反射材を付けましょう。
- 自転車利用者の皆さんへ
自転車も車の仲間であり、交通ルールやマナーを守らなければなりません。令和5年4月1日から、全ての自転車利用者の方に乗車用ヘルメットの着用が努力義務化されていますのでヘルメットを着用しましょう。

【自転車安全利用五則】

- 1 車道が原則、左側を通行 歩道は例外、歩行者を優先
- 2 交差点では信号と一時停止を守って、安全確認
- 3 夜間はライトを点灯
- 4 飲酒運転は禁止
- 5 ヘルメットを着用

問い合わせは士別警察署まで

士別警察署 (代) 0165-32-0110



HELLO-BABY

ズンチャツズンチャツ… あ、どうも。あさひです。
 音楽が流れると体が勝手に動いて踊ってしまうんだ！
 あと、手を後ろに伸ばす飛行機のポーズをするのがマイブーム
 ちょっと人見知りだけど、僕を見かけたら「ひこうき〜」って言って
 ね！そしたら、カッコいいポーズを見せるね！

あさひ
佐久間 旭洗くん 《R4. 7. 24生まれ》

三笠 おとうさん 佐久間 翔 さん
 おかあさん 雛 々 さん

豪華観光列車のおもてなしをしませんか？



※イラストはイメージです。©ドーンデザイン研究所

JR北海道と東急(株)が運行する豪華観光列車「THE ROYAL EXPRESS ～HOKKAIDO CRUISE TRAIN～」が和寒駅にやってきました！

9月9日から毎週土曜日に計3回運行される予定ですので、和寒駅のホームで一緒に小旗を振っておもてなしをしませんか？

観光列車としては最大級の8両編成です。このような列車が和寒に来ることは非常に珍しく、乗客の皆さんにも楽しい思い出と和寒町を知っていただけるよう「おもてなし」を行いますので、皆様のご参加をお待ちしております。小さいお子様も大歓迎です。

当日は、和寒かぼちゃのPRにかぼちゃ部会の佐藤昭徳さん・香苗さん・役場職員と、かぼちゃの懐石料理の提供に冬音の南シェフが添乗します。当日の様子については、終了後広報誌でお知らせします。

日時：9月9日、9月16日、
 9月23日 (毎週土曜日)
 時間：午前10時41分頃(列車到着)
 午前11時頃(列車出発)



※参加いただける方は午前10時30分までにお集まりください。

※おもてなし内容：和寒町PRグッズの配付、お見送り時のお手振り等

※おもてなし時は、事故などにつながらないように安全確保にご協力をお願いします。

お問合せは総務課まちづくり推進係(電話32-2421)まで



What's some
 WASSAMU



広報わっさむ

発行/和寒町 編集/総務課情報管理係 印刷/文義堂印刷・出版
 〒098-0192 北海道川上郡和寒町字西町120番地
 電話 0165-32-2421(代表) FAX 0165-32-4238
 ホームページ <http://www.town.wassamu.hokkaido.jp/>

